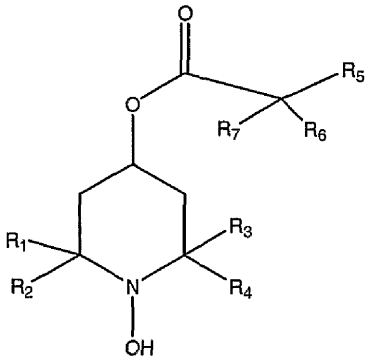
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2007-527417(P2007-527417A)
【公表日】平成19年9月27日(2007.9.27)
【年通号数】公開・登録公報2007-037
【出願番号】特願2006-541459(P2006-541459)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/445　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4525　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5377　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4545　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/454　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/198　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/145　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　39/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/49　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　7/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　211/94　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　405/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/445
Ａ６１Ｋ　31/4525
Ａ６１Ｋ　31/5377
Ａ６１Ｋ　31/4545
Ａ６１Ｋ　31/454
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/198
Ａ６１Ｋ　31/145
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　27/06
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｐ　17/14
Ａ６１Ｐ　39/00
Ａ６１Ｐ　1/00
Ａ６１Ｋ　8/49
Ａ６１Ｑ　7/00
Ｃ０７Ｄ　211/94
Ｃ０７Ｄ　405/12

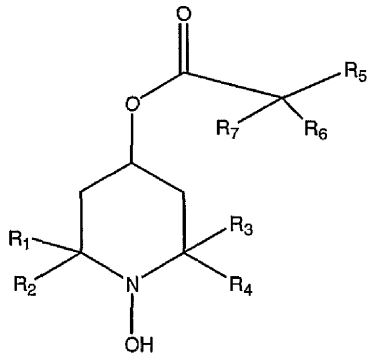
【手続補正書】

【提出日】平成19年11月21日(2007.11.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式で表される化合物を有効成分として含んでなる、患者における黄斑変性、網膜症、緑内障、老眼、結膜疾患、眼瞼障害、角膜疾患若しくはブドウ膜炎の処置用の製薬学的製剤。
式：
【化１】



式中、R_1およびR_2は独立にH若しくはC_1ないしC_3アルキルであり；
R_3およびR_4は独立にC_1ないしC_3アルキルであり；また、
式中、R_1およびR_2は一緒になって、若しくはR_3およびR_4は一緒になって、または双方がシクロアルキルであってもよく；
R_5はH、OH若しくはC_1ないしC_6アルキルであり；
R_6はまたはC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであり；
R_7はC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであるか、あるいは
式中、R_6およびR_7、若しくはR_5、R_6およびR_7は一緒になって環中に３から７個までの原子を有する炭素環若しくは複素環を形成する。
【請求項２】
下記式で表される化合物を有効成分として含んでなり、該化合物が加齢に関係した状態の開始前若しくは開始時に患者に投与される、白内障、老眼、緑内障、加齢性黄斑障害若しくは眼の他の加齢に関係した状態の進展の予防若しくは遅延用の点眼薬、洗眼薬若しくは眼軟膏剤である製薬学的製剤。
式：

【化２】



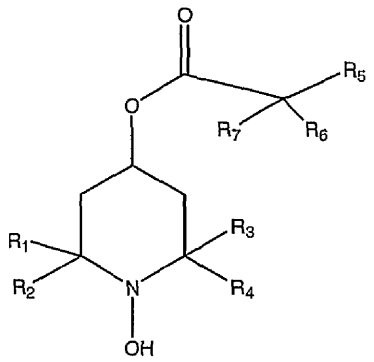
式中、R_1およびR_2は独立にH若しくはC_1ないしC_3アルキルであり；
R_3およびR_4は独立にC_1ないしC_3アルキルであり；また、
式中、R_1およびR_2は一緒になって、若しくはR_3およびR_4は一緒になって、または双方がシクロアルキルであってもよく；
R_5はH、OH若しくはC_1ないしC_6アルキルであり；
R_6はまたはC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであり；
R_7はC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであるか、あるいは
式中、R_6およびR_7、若しくはR_5、R_6およびR_7は一緒になって環中に３から７個までの原子を有する炭素環若しくは複素環を形成する。

【請求項３】

下記式で表される化合物を有効成分として含んでなり、該化合物が加齢に関係した状態の開始前若しくは開始時に患者に投与される、点眼薬、洗眼薬若しくは眼軟膏剤である製薬学的製剤。

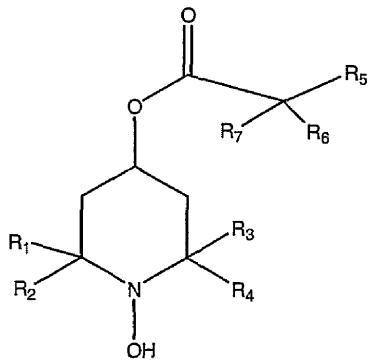
式：

【化３】

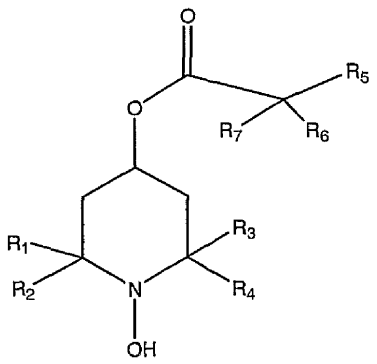


式中、R_1およびR_2は独立にH若しくはC_1ないしC_3アルキルであり；
R_3およびR_4は独立にC_1ないしC_3アルキルであり；また、
式中、R_1およびR_2は一緒になって、若しくはR_3およびR_4は一緒になって、または双方がシクロアルキルであってもよく；
R_5はH、OH若しくはC_1ないしC_6アルキルであり；
R_6はまたはC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであり；
R_7はC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアル

ケニルであるか、
あるいは式中R_6およびR_7、若しくはR_5、R_6およびR_7は一緒になって環中に３から７個までの原子を有する炭素環若しくは複素環を形成する。
【請求項４】
下記式で表される化合物を有効成分として含んでなる、患者の毛包を保護しかつさらなる脱毛を予防するための製薬学的製剤。
式：
【化４】



［式中R_1およびR_2は独立にＨ若しくはC_1ないしC_3アルキルであり；
R_3およびR_4は独立にC_1ないしC_3アルキルであり；また、
式中R_1およびR_2は一緒になって、若しくはR_3およびR_4は一緒になって、または双方がシクロアルキルであってもよく；
R_5はＨ、ＯＨ若しくはC_1ないしC_6アルキルであり；
R_6はまたはC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであり；
R_7はC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであるか、
あるいは式中R_6およびR_7、若しくはR_5、R_6およびR_7は一緒になって環中に３から７個までの原子を有する炭素環若しくは複素環を形成する。
【請求項５】
下記式で表される化合物を有効成分として含んでなる、放射線治療の結果としての損傷からの直腸組織の保護若しくは処置用の製薬学的製剤。
式：
【化５】



［式中R_1およびR_2は独立にＨ若しくはC_1ないしC_3アルキルであり；
R_3およびR_4は独立にC_1ないしC_3アルキルであり；また、

式中R_1およびR_2は一緒になって、若しくはR_3およびR_4は一緒になって、または双方がシクロアルキルであってもよく；
R_5はH、ＯＨ若しくはC_1ないしC_6アルキルであり；
R_6はまたはC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであり；
R_7はC_1ないしC_6アルキル、アルケニル、アルキニルまたは置換アルキル若しくはアルケニルであるか、
あるいは式中R_6およびR_7、若しくはR_5、R_6およびR_7は一緒になって環中に３から７個までの原子を有する炭素環若しくは複素環を形成する。
【請求項６】
R_1、R_2、R_3およびR_4がC_1－C_3アルキルである、請求項１～５のいずれかに記載の製薬学的製剤。
【請求項７】
R_1、R_2、R_3およびR_4がエチル基である、請求項６に記載の製薬学的製剤。
【請求項８】
R_1、R_2、R_3およびR_4がメチル基である、請求項６に記載の製薬学的製剤。
【請求項９】
R_5がH若しくはメチルであり、
R_6がベンジルオキシ若しくはC_1－C_6アルコキシで置換されたメチルであり；そして
R_7がメチルである、請求項８に記載の製薬学的製剤。
【請求項１０】
R_5がH若しくはメチルであり、
R_6およびR_7がシクロプロピル基を形成する、
請求項８に記載の製薬学的製剤。
【請求項１１】
R_5、R_6およびR_7がフラニル基を形成する、
請求項８に記載の製薬学的製剤。
【請求項１２】
R_5がＨであり；そして
R_6およびR_7がテトラヒドロフラニル基を形成する、
請求項８に記載の製薬学的製剤。
【請求項１３】
R_5がＨであり；そして
R_6およびR_7がシクロプロピル環を形成する、
請求項８に記載の製薬学的製剤。
【請求項１４】
製剤が、点眼薬、洗眼薬若しくは眼軟膏剤である、請求項１に記載の製薬学的製剤。
【請求項１５】
患者に還元剤が投与される、請求項１～５のいずれかに記載の製薬学的製剤。
【請求項１６】
製剤が還元剤と共投与される、請求項１５に記載の製薬学的製剤。
【請求項１７】
製剤が還元剤と別個に投与される、請求項１５に記載の製薬学的製剤。
【請求項１８】
還元剤がスルフヒドリル化合物である、請求項１５に記載の製薬学的製剤。
【請求項１９】
患者にメルカプトプロピオニルグリシン、Ｎ－アセチルシステイン、β－メルカプトエチルアミン、若しくはグルタチオンが共投与される、請求項１８に記載の製薬学的製剤。
【請求項２０】
還元剤が、点眼薬、洗眼薬若しくは眼軟膏剤を介して投与される、請求項１５に記載の

製薬学的製剤。
【請求項２１】
化合物が、約０．１μＭないし約１０ｍＭの組織および液体中の濃度を達成するように投与される、請求項１～５のいずれかに記載の製薬学的製剤。
【請求項２２】
化合物が、約１μＭないし約５ｍＭの組織および液体中の濃度を達成するように投与される、請求項１～５のいずれかに記載の製薬学的製剤。
【請求項２３】
化合物が、約２５μＭないし約１ｍＭの組織および液体中の濃度を達成するように投与される、請求項１～５のいずれかに記載の製薬学的製剤。
【請求項２４】
化合物が、約５０μＭないし約１００μＭの組織および液体中の濃度を達成するように投与される、請求項１～５のいずれかに記載の製薬学的製剤。
【請求項２５】
疾患若しくは障害が眼瞼炎である、請求項１に記載の製薬学的製剤。
【請求項２６】
疾患若しくは障害が眼の酒さである、請求項１に記載の製薬学的製剤。
【請求項２７】
疾患若しくは障害が黄斑変性である、請求項１に記載の製薬学的製剤。
【請求項２８】
疾患若しくは障害が網膜症である、請求項１に記載の製薬学的製剤。
【請求項２９】
疾患若しくは障害が緑内障である、請求項１に記載の製薬学的製剤。
【請求項３０】
疾患若しくは障害が老眼である、請求項１に記載の製薬学的製剤。
【請求項３１】
製剤が、黄斑変性、網膜症、緑内障、老眼、結膜疾患、眼瞼障害、角膜疾患若しくはブドウ膜炎を処置するのに使用される第二の化合物をさらに含んでなる、請求項１に記載の製薬学的製剤。
【請求項３２】
第二の化合物が同時に投与される、請求項３１に記載の製薬学的製剤。
【請求項３３】
第二の化合物が連続して投与される、請求項３１に記載の製薬学的製剤。